

ゆあさ行灯アート展

今年も、ゆあさ行灯アート展の時期が近づいてきました。今年度からは、重伝建10周年実行委員会のあとを受けて発足した「湯浅まちなみの会」が主催となって開催されます。例年、多くの方々にお越しいただいて好評をいただいているイベントです。地区の住民みんなで盛り上がりたと思いますので、皆様のご協力とご参加をよろしくお願いします。



昨年（2019年）の展示の様子

◆ 行灯アート展催し事 出演者募集について ◆

期間中、行灯アート展にふさわしい演奏会などの催し事に出
演して下さる方々を募集しています。希望される場合は、湯
浅まちなみの会事務局（守屋 090-6663-8381）までご連
絡ください。締切は3月31日（金）まで。

- ◆ 出演はボランティアでお願いします。
- ◆ 会場の都合により、参加のご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。



昨年の様子

手作り行灯
写真コンテスト 作品を出品しませんか？

町並みの夜を彩る行灯を、自分たちの手で作るというかたちで、行灯アート展に参加してみてもはいかがでしょうか。また、期間中に撮影した写真による写真コンテストもあります。ぜひ出品してみてください。

第13回 紀州湯浅のシロウオまつり

日 時：平成29年3月19日（日） 10：00～14：00

場 所：湯浅町島之内商店街 広橋周辺

■甚風呂や岡正などを巡るスタンプラリーもあります！■

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

【開催期間】

4/29 (±)

~5/3(水)

版瓦子名事

■平成29年 3月 1日

第 32 号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之

伝建地区自主防災組織連絡協議会

防災（消火）訓練を実施しました



2月19日（日）に、北の町老人憩の家において、消火訓練が行われました。訓練は湯浅広川消防組合の指導のもと、可搬式ポンプや消火器の使用法、約30名の参加者全員によるバケツリレーなどの訓練が行われました。昨年8月の火災の記憶が新しい所ですが、まずは人命が最優先であることを念頭に、日頃からの火の元への注意や、初期消火の大切さを改めて考えさせられました。



【消防による指導の様子】

燃えやすい物を玄関先に置かないことも大切。ケガをしないように注意して消火にあたり、人命最優先であることを忘れてはいけません。



【バケツリレー消火訓練】

バケツリレーは水を運ぶ列と空いたバケツを戻す列の2列で行います。疲れてきたら適宜入れ替わるようにしましょう。



【消火器の使用】

炎ではなく、下のほうの燃えている火元を狙って、冷静に、姿勢を低くして。「火事だ!」と叫んで近所に知らせることがとても大事。

毎年1月26日は全国文化財防火デーとなっています。ちょっとした不注意、天災などで火災が発生しますと、密集した建物が、今まで築き上げた文化が、ともに消えてしまいます。しかしそれ以上に、人命を守ることの大切さを考えないといけません。実際に機械の使い方や消火器の扱い方など、行動してやってみないと初期消火の難しさがわからないことなどを体験いたしました。しかし現在の防火水槽1基だけでは、4地区の初期消火用の水源水槽が不足で、若者不足の中で各区とも初期の消火がスムーズに行える体制づくりの中でお年寄りや女性にも簡単に操作できる2号消火栓の設置等が必要であることもわかり、今後の課題として早期解決を期待する次第です。



可搬式ポンプによる放水訓練



可搬式ポンプによる放水訓練

伝建地区自主防災組織連絡協議会 会長 半邊 宗五

湯浅まちなみ ひなめぐり ～3月5日まで開催～



展示作業の様子



今年で4回目を迎えるひな人形の展示。2月4日（土）には、保存協議会委員を中心に皆様にお手伝いをいただきながら、北町ふれあいギャラリーや甚風呂のひな飾りを行いました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

「湯浅まちなみ ひなめぐり」と名前を改めた今年のひな人形展示は、駅前から伝建地区までの町内18ヶ所で開催しています。展示場所も範囲も過去最大となり、みなさまからお寄せいただいたひな人形も充実して、訪れる人たちに春の訪れを感じさせてくれています。



お知らせ ひな祭り 雅楽の調べ

■日 時：平成29年3月5日（日） 第1回 11：00～
第2回 13：30～

■場 所：太田久助吟製 まえぐら

■入場料：無 料 ■公 演：和歌山雅楽会

ひなめぐり最終日に行われます。ぜひ、ご来場ください！



昨年の様子

報告 文化庁 担当官による現地指導が行われました



1月17日（火）～18日（水）にかけて、文化庁の担当官である稲垣智也技官による現地指導が行われました。国の補助を受けて実施している保存修理事業の適切な遂行、次年度以降の計画物件の修理方針等について、町や県の担当者が指導を受けました。

伝建地区に・・・

1月23日（月）の夕方から降り始めた雪で、翌朝の町並みは真っ白。日陰の雪は1週間ほど残りました。珍しい湯浅の雪景色でした。



雪が！！

学び

子どもたちの声 賑やかに

田栖川小・田村小・山田小 3校合同学習会
湯浅小学校3年生 甚風呂見学



湯浅町の小学生たちが、伝建地区を舞台に湯浅の歴史や昔の人々の生活を学びました。1月17日（火）は田栖川・田村・山田の各小学校5年生が集い、伝建地区内でウォークラリーに取り組みました。また、1月31日（火）には湯浅小学校の3年生が甚風呂で古民具等の説明を聞きながら人々の暮らしについて勉強しました。子どもたちは目を輝かせて話に耳を傾け、熱心にメモを取ったり、積極的に町中を走り回ったりしていました。



【3校合同学習会】

古い写真や絵の場所を探したり、町家の意匠を探したり。地区住民に答えを聞くのは有り。子供たちは笑顔いっぱい積極的に取り組みました。

【湯小3年 甚風呂見学】

甚風呂スタッフが先生となって、銭湯のことをはじめ井戸や古民具の説明を聞いた子供たち。昔の人々の生活の知恵に興味津々でした。



報告

「兵庫県まちづくり技術センター」の視察研修を受け入れ

2月7日（火）、兵庫県の景観まちづくりを支援する、公益財団法人「兵庫県まちづくり技術センター」と兵庫県が開催する現地視察セミナーが湯浅で行われました。建築士や設計士などの技術者や県市の担当者など30名の方々が訪れ、伝建地区の住民団体の取り組みや防災に関する事などについての説明を受けた後、地区内を視察しました。参加者からは、湯浅の人々の温かさを感じるいい研修だったとの声が聞かれました。

